

内田滿鐵總裁に對する

懇談事項要旨

昭和六年十月六日

本庄關東軍司令官よりの

關東軍司令部

一、今回の事變に際し貴會社の特別なる御配慮に依り繁激なる軍事輸送を圓滑に遂行することが出來或は繁忙なる貴社業務の支障多きに係らず當軍の依頼に應じ幾多有能の士を派遣せられたる御厚情は衷心感謝に堪へぬ所である。其の他萬般に亘り御援助を受け軍の行動に寄與せられつゝあるのは大いに意を強くしてゐる次第である。

二、九月十八日夜半支那東北軍歩兵第七旅の一部に依り北大營西南方の鐵道線路を燃破せられ且我々備兵を襲撃せられたことに端を發して先づ在奉日支兩兵の交戦を見るに至つた。

御承知の如く最近東北四省の排日は毎日行爲と化し甚しきは皇軍の威信すら傷つくるに至り頻發する各種の事件に常に憤激を感じつつ軍は應變の準備を整へて居たのであるが斯くなる上は軍の任務を完全に達成する爲斷然之一擊を加へ膺懲し以て禍痕を永遠に絶つに如かずと

考へ出動に決した次第である

何分延長物体の保護であり且募兵を以て衆敵に當る必要もあるので併せて營口・鳳凰城等の支那兵の武装を解除し且長春は當初は先づ萬一の變に備へしめた謂である。幸ひ天佑と貴方の適切・機敏なる列車の配給並運行に依り且又隸下將卒の奮勵に依つて寄功を奏したるのは不肖の深く光榮とする所である

三 占領後奉天省城の如きは在來の政權者流逃避散逸し爲政の適任者がないので取敢へず土肥原大佐を市長として之に若干の者を附け其の指導を以て市政を行はしめつつあるが逐次治政の擧るゝを待つて支那側に換へる心算で居る。又營口・長春・四平街等の如きは全然支那側の希望に基き各々其の實情に即し現地に適合した如く行政に任せしめてゐる次第である

軍は今や奉天・長春等滿鐵沿線に主力を集結し吉林・鄭家屯其の他に一小部隊を派遣して暮ら治安の維持に任せしめてゐるが敗殘兵が所在

に亂暴狼藉をするのには困却してゐる

四 事態今日の如く擴大し一方張學良に對する民心既に去り其の威令は全く東北四省内に行はれてゐない。今や隨所に政權樹立の運動が勃發しつつあるか之等も我日本の態度や蘇露の窺倫を伺ひ或は再び學良でも歸るのではないかと言ふ様な各種の揣磨憶測に迷つて其の去就をも明確に決し兼ねて居る状態である。之を早く收拾し混亂を防止し安寧を保つことは東北四省三千万民衆の福利を増進し我日本の利益を計る所以である之れ刻下の最大急務と謂はねばなるまい。之を放置するに於ては滿蒙は絶えざる不安に驅られ支那本土の對日感情も結局落付かないであらう。

五 其處で予は此難局を打開するためには是非共新政權を樹立するより外に策かないものと確信する。唯單に既得の權益を擁護する位では結局南滿洲丈けの問題に留り禍痕は永く後世に残るであらう。此の際には是非共在滿三千万民衆の共存共榮の爲或は我國家永遠の生存權を確立す

る爲百年の大計を樹立し建設的方策に向つて積極的に邁進すべきである。而已ならず此新政權の樹立は一日も速ならんことを必要と思惟するものである

此新政權樹立のためには次の如き原則に準據するのを有利と信ずる

一、滿蒙を支那本土より全然切り離すこと

一、滿蒙を一手に統一すること

一、表面支那人により統治せらるるも實質に於ては我方の手裡に掌握せらるること

而して右の新政權は結局實質的には我國の保護下に置かなければなるまい。尠くとも軍事、外交、交通の實權を收めるの要がある

經濟上より觀察し或は單に滿鐵自体の發展を考ふるも又國防上の見地より判斷するも將來の政治上の推移を豫測するも何れも南滿及北滿は之を一元として策案を樹つることが絶対に必要である

本報て近頃新聞紙上等で見受けるのであるが徒に國際聯盟とか米國の向

背を氣にして事變の根本原因を見究めず對策も考へずに過早に南京政府に交渉するとか撤兵するとかを論ずるのは徒に彼等に言質を與へ我立場を苦境に陥るのみで策の得たるものではない斷じて排撃せねばなるまい

我軍出動の根本原因は積年支那軍閥官憲の使喚する侮日行爲からであり軍今次の發動は當然な自衛權の行使である。その善後處置は治安維持に専念し衷心東北民衆の幸福は庶幾して居る次第で正々堂々何等遠慮も心配も要らぬ所である
若し彼等が滿蒙の事情を深く究明せず横槍を入れるに於ては斷乎として一蹴すべきである

現時一般の情勢は軍事的に觀れば決して心配は入らないと思ふ。蘇露は目下の狀況では決して大きな事は出来ない。英米・亦然りである。假令之等を對手とするも軍事的には何等恐るるに足らない。國力にしても滿蒙を我手に入れてさへ居れば自ら北支を制し持久戦争の持續に

は何とか出来る見込みがある。否、此大決意さへあれば現在の國際關係
上此戦争は決して勃發するものでなく中支の排日も亦ピツタリと止む
のは明瞭に窮はれぬ

今日消極退嬰に陥れば結局我日本は滿蒙は元よりのこと長江筋からも
總退却の餘儀なきに至り排日排貨は今日以上となることは容易に想像
せらるる所である。此際舉國一致一大決意を以て建設的方策を樹立す
ることに精進すべきであらう

七而して交渉は結局支那本土と分離せる新政權を擁立し之との間に解決
するを尤も賢明の策とすべく基礎薄弱な南京政府と懸引しても徒に歳
月を要するのみで何等の期待も贏ち得まい

扱又此結末は我國現時の大局より見れば結局閣下の御盡力を煩すこと
となるべく閣下も予の微衷を諒察せられ上京の上は充分政府要路と意
見を交換せられ御骨折を願ひ度い次第である

尙此際特に御依頼し度いのは政權樹立の推移中より既得權益の不當に

侵害せられてゐるものはどしどし恢復し或は緊急の救済策を講じて
良民を救ひ又一般經濟行爲を活潑に行ふ事は進んで御盡力を仰ぎ度
いのである

1300